

令和二年度交通事故物故者慰霊祭中止にあたってのご挨拶

謹啓 盛夏の候 皆さまにはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、九月に開催を予定しておりました交通事故物故者慰霊祭につきましては、新型コロナウイルス感染が全国的に再び拡大しており、札幌市内においても複数件のクラスターが発生している状況の中、皆さまのご健康を第一に考えまして中止とさせていただきますことといたしました。

この慰霊祭は、交通事故に遭遇され不幸にも故人となられた方々の御霊をお慰め申し上げ、併せて道民すべての願いであります交通事故の撲滅を祈願することを目的として、ご遺族をはじめ関係者の皆様のご参列を賜り、本会創立時である昭和四十九年から一度も途切れることなく実施してきたものですが、このような形で開催が中止となりましたことは、誠に残念に思っております。

しかしながら慰霊祭という行事が中止となりましたも、不慮の輪禍で最愛のご家族を残された諸霊に対しまして心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、交通事故のない安全で安心して暮らせる住み良い社会を実現するため、改めて私ども一人一人が強い気持ちで交通事故の撲滅に向けより一層の努力をしていかなければならないという決意は些かもかわるところはございません。

今後も、ご遺族の皆様が平穩に、また幸せに過ごされますように、支援を続けさせて頂きますことを、謹んでお誓い申し上げます。

また、本会会員及び関係機関の皆様の永年にわたるご協力と、数多くの篤志家の皆様の温かいご支援に対しまして、この場をお借りして心より感謝し、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

結びになりますが、現在の新型コロナウイルスによる困難な状況下にありましても皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。公益社団法人北海道交通遺児の会を代表しご挨拶とさせていただきます。

謹白

令和二年八月

公益社団法人北海道交通遺児の会

会長 工藤修二